

「高耐荷力方式編」
オーガ方式－工程式の積算

工法名： ホリゾンガー工法

1. 呼び径

管径番号の入力 4 呼び径： 400 mm

土質番号 管径番号		※国交省積算基準			
		0 < N ≤ 20		20 < N ≤ 30	
		1		2	
		日進量	滑材	日進量	滑材
1	250	8.1	15	7.5	15
2	300	7.8	17	7.2	17
3	350	7.5	20	6.9	20
4	400	7.3	22	6.6	22
5	450	7.0	24	6.4	24
6	500	6.8	27	6.1	27
7	600	6.3	30	5.6	30
8	700	5.9	35	5.2	35

2. スパン割り

※注：スパン順序は推進する順番に記入して下さい。

スパン	推進距離 (m)	土質番号 1～4	日進量	施工順序		
1	40.000	1	7.30	1	開始スパン	1： 開始スパン
2	30.000	2	6.60	2	方向転換	2： 方向転換
3	20.000	2	6.60	3	推進設備移設	3： 推進設備移設
4	35.000	1	7.30	2	方向転換	
5						
6						
7						
8						
9						
10						
スパン数計	4 スパン	1	75.000	方向転換： 2 回 推進設備移設： 1 回		
延長計	125.000 m	2	50.000			
			平均			
平均	31.250 m		(m/日)			
最大スパン	40.000 m	計	125.000	7.02		

立坑内布設延長＝ 2.3 m

4. 管材料

※注：半管単価は標準管の80%とする。

※注：2種単価は標準管の120%とする。

埋込カラー形小口径推進管（継手性能SJ）	1 種	$\sigma=50$	標準管	60	本	2.43 m/本
			半 管	3	本	1.20 m/本
		$\sigma=70$	標準管	2	本	2.43 m/本
			半 管	3	本	1.20 m/本
	2 種	$\sigma=50$	標準管	3	本	2.43 m/本
			半 管	3	本	1.20 m/本
埋込カラー形小口径Wジョイント推進管（継手性能SJA）			標準管	2	本	2.43 m/本
			半 管	1	本	1.20 m/本

4. 発生土処理

※1日当り運搬土量＝1m当り掘削土量×日進量

$$= 0.526^2 \times \pi/4 \times 7.0 = 1.52 \text{ m}^3/\text{日}$$

※右表より、

ダンプトラック車種＝4 t 積

運転時間＝2 時間

ダンプトラック借上げ基準（P.99）

※金額：m3/円

種別	4 t 車			2 t 車		
	回数	運転時間	金額	回数	運転時間	金額
1日当り運搬土量						
1. 1m3/日以下				1	2	5,669
1. 1～2. 2m3/日	1	2	7,038	2	4	9,746
2. 2m3/日以上	2	4	11,644	3	6	13,866

5. 仮設備工

標準坑口＝4 箇所

発進鏡切り工＝		箇所	鋼矢板Ⅱ型	到達鏡切り工＝		箇所	鋼矢板Ⅱ型
		箇所	鋼矢板Ⅲ型			箇所	鋼矢板Ⅲ型
	1	箇所	ライナープレート		1	箇所	ライナープレート
	1	箇所	小型立坑		1	箇所	小型立坑

安全退避設備＝1 1：計上する 2：計上しない
2 箇所（※計上する場合）

6. 工程条件

α ：不稼働係数＝1.4

7. 水道料金・産廃受入費

水道料金		円/m3
産廃受入費		円/m3
建設残土受入費	500	円/m3
電力料	15.00	円/KW